

コーチやアスリートのリーダーシップ研究

国際商経学部 高松 祥平



キーワード

サーバントリーダーシップ、シェアド・リーダーシップ、コーチング、スポーツ指導者、選手

研究概要

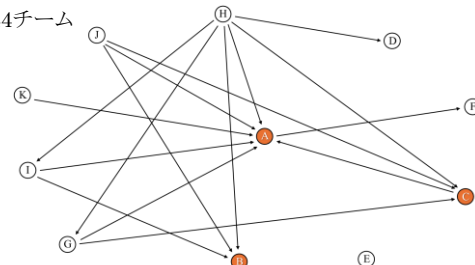
私は、スポーツチームにおけるコーチやアスリートのリーダーシップに焦点をあてて、研究を行っています。コーチの文脈では「サーバントリーダーシップ」という概念を用いています。サーバントリーダーシップは主にビジネス分野で発展してきた概念ですが、近年スポーツ分野でも採用されており、コーチのサーバントリーダーシップは「選手のニーズや関心を優先し、彼らの成長やウェルビーイングに尽力することによって、チーム共通の目的のために奉仕するアスリートファーストのアプローチ」と定義されます。アスリートの文脈では「シェアド・アスリートリーダーシップ」という概念を用いて研究を行っています。この研究においては、社会ネットワークアプローチという手法を用いることで、チーム内におけるリーダーシップの可視化や構造把握が可能になります(図参照)。私の最近の研究では、高校運動部44チーム(1,120名)を対象にデータを収集し、コーチのサーバントリーダーシップが良好なチーム環境を作りだし、それがアスリートのリーダーシップを促進するという結果が示されました。

アピールポイント

- ・コーチのサーバントリーダーシップを測定するための尺度を開発しました。
- ・スポーツチームに限らず、チームやグループ内のメンバーのリーダーシップを測定し、可視化することができます。

応用分野

- ・企業やスポーツチームにおけるリーダーシップ育成・研修プログラム
- ・リーダーシップ構造を可視化するアプリの開発



あるチームにおけるリーダーシップのネットワーク図
(A、B、Cが主にリーダーとして認識されている)